

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際関係学部

学年：2年

留学先大学：王立プノンペン大学

現在の学期：1学期

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	14:00-17:00 The UN Systems and Agencies
火	14:00-17:00 Principles of Microeconomics
水	14:00-17:00 Professional Communication
木	14:00-17:00 Politics & Governments in Southeast Asia
金	14:00-17:00 Mainstream IR Theories
土・日	

履修科目や近況について

まず、私の留学している大学では午前・午後・夜とクラスが分かれており、私は午後のクラスに在籍しているため、毎日 14:00-17:00 と決まった時間で授業を受けています。クラスも、日本のように授業によってメンバーが変わることはほぼなく、感覚的には日本の高校に近いかと思います。

各科目に関して、The UN Systems and Agencies では、国際連合の基本的な役割や成果、課題、各国の責務などに関して学びます。ニュースを読んでまとめる課題が課されています。最後のテストで主に成績が決まります。Principles of Microeconomics は、経済の基本的なことを学習しています。経済に関して深く学んだことがない前提で進むので、ついていくことが比較的簡単です。最後のテストで主に成績が決まります。小テストが、教科書のチャプターが二つ終わるごとにあります。Professional Communication は、1週間の中で最も基礎的なことを学習する科目です。英文でのメールや手紙の書き方を学習します。グループワークも多い授業で、主に最後のテストで成績が決まります。日本の例が出されることも多く、よく質問を受けます。Politics & Governments in Southeast Asia の授業では、東南アジアの国々の国家の体制やカンボジア、その他 ASEAN 諸国に関する基礎知識が要求される授業で、クラスでは私以外全員カンボジア人の学生なので、私はついていくのに必死な授業です。私が学びたかったカンボジアの視点から ASEAN などを見つめる授業で、先生も私が日本人なことを考慮して進めてくれる

ので非常に充実しています。グループでのプレゼンテーション、最後のテストで主に成績が決定します。Mainstream IR Theories は、毎週最も重い課題が課される授業です。授業で使うリーディング教材の要約や、2回の振り返りレポートがかなり内容の濃い課題で、私だけでなく周りの学生もこの授業を最も大変に感じているようです。課題であった要約を、突然クラスで発表になることなどもあるので、常に気を抜くことはできませんが、国際関係学の基礎を学ぶことができているので有意義です。毎回の課題と、最後のテストで主に成績が決まります。

生活面では、みんな授業が終わったら大抵すぐに帰るので私もそうすることが多いです。授業前のリーディングが重要であるのと、ノートのみとめ直しもしたいので、授業後は自宅に帰るかカフェに行って自分で勉強をすることが多いです。

